

編集後記

雑誌名	コミュニケーション文化論集
巻	21
ページ	77-77
発行年	2023-03-24
URL	http://id.nii.ac.jp/1114/00007468/



投 稿 規 程

投 稿 資 格：大妻女子大学コミュニケーション文化学会会員であること。

投 稿 原 稿：未発表の研究論文であること。

原 稿 字 数：16,000 字程度とする。

投 稿 方 法：データ入力を原則とする。

原稿の採否：会長が委嘱する編集委員会が決定する。

編集の実務：編集委員が行う。

著 作 権：「コミュニケーション文化論集」に掲載された論文などの著作権は、著者に帰属する。ただし、著作権者は、掲載論文などの電子化、大妻女子大学学術情報リポジトリにおける公開を許諾したものとする。引用図版などについては、公衆送信許諾確保の有無が確認できない場合は、その図版は web 上に公開送信しない。

(令和 4 年 5 月 16 日)

編 集 後 記

名著『「世間」とは何か』（1995 講談社現代新書）の著者で、一橋大学学長をつとめた阿部謹也（1935-2006）は、同著「はじめに」の冒頭で、「私は社会科学といわれる学問の世界に比較的ながく身をおいてきたにもかかわらず、その叙述の形や概念になじむことができなかつた」と述べている。かくしてドイツ中世史研究の第一人者であった阿部は、その理由を解明すべく、日本の「世間」の研究に入り、不朽の功績を残した。この時、阿部は還暦を迎えようとしていた。

このことは、私たち研究に携わる者に、大いなる勇気を与えてくれる。どんなに年齢を重ねても、新たな研究テーマにとりくめるのである。その点、わがコミュニケーション文化学会とその機関誌である本誌は、うってつけの環境にあると言えるだろう。そもそも領域横断型の学科を母体とするのであるから、どのような研究テーマでも受け入れるし、新たな研究テーマに自由にとりくめる。このような柔軟性が大いなる研究成果をもたらすと後記筆者は信じている。

(編集委員：松村茂樹)